



目 次

心かよわす世界の星々	萩原雄祐	5
同僚・先輩としての三先生	吉田洋一	19
研究と教職を両立させた陰の力	玉虫文一	30
薬学を志してから	宮木高明	43
水青き吉野川のほとりにて	井本稔	58
叱らない先生と頭の上がらない先生	永田武	73
埒外にのびる弟子を評価した先生	桑原万寿太郎	89
先輩から受けついだ学問の悩み	永宮健夫	103
微鉍物と鈴木梅太郎先生	須藤俊男	117
分裂病の研究をめぐる師と友	台 弘	131

わけもわからず化学科へ	三宅泰雄	147
チトクロム研究をめぐって	森健志	161
実験物理学と西川正治先生	熊谷寛夫	177
私の情報理論の温床	喜安善市	193
大阪の生化学の流れの中で	須田正巳	209
菊池先生とその研究室	渡瀬諲	227
極低温物性にたどりつくまで	神田英蔵	240
自慢のわが師わが友	矢野健太郎	255
諸先生とあまのじゃく	高橋秀俊	269

執筆者略歴

